

GGG 創立 30 周年記念事業

第 4 回「木材腐朽菌モデル対策 現地検討会」を鎌倉・建長寺で開催
～2 月 18 日(木)、新日本名木百選指定のビャクシン(推定樹齢 750 年)の腐朽病害を診断～

台風などの強風による倒木で、貴重な文化財や建物などが被害に遭うというニュースが報道されます。この樹木の枯損や衰退の大きな原因の一つが「木材腐朽菌(キノコ)」による腐朽病害ですが、木材腐朽菌の研究はあまり進んでいない現状にあります。

(社)golferの緑化促進協力会(GGG。会長：児島 仁、理事長：大西久光)は、創立 30 周年記念事業の一つとして平成 18 年度から、「安全対策・景観保持」の観点に立ち本分野の調査・研究および木材腐朽菌の寄生により深刻な被害を受けている貴重な樹木を選定して『木材腐朽菌モデル対策現地検討会』を、樹木管理関係者、樹木医、ゴルフ場関係者等を多数お招きして開催し、診断報告と対策の説明、樹木医による診断の実演を行っています。

- ・第 1 回＝平成 18 年 9 月 27 日 埼玉県上尾市・八枝神社
ケヤキ (樹齢 400～500 年)
- ・第 2 回＝平成 20 年 12 月 6 日 茨城県城里町・コミュニティセンター城里
スジダイ (樹齢 350～400 年)
- ・第 3 回＝平成 21 年 1 月 23 日 福岡市・鳥飼八幡宮
エノキ・ムクノキの古木

第 4 回となる「平成 21 年度木材腐朽菌モデル対策現地検討会」は、2 月 18 日(木)に建長 5 年(1253 年)に創建された神奈川県鎌倉市の「建長寺」の新日本名木百選にも指定されている市指定天然記念物「ビャクシン」(樹齢 750 年。幹周 6.59m・樹高 13m)の腐朽病害診断について開催いたします。

当日は、GGG 大西理事長から建長寺の高井宗務総長に対して樹木精密診断機器ピカスによる『建長寺ビャクシンの診断・対策報告書』を贈呈、ビャクシンの診断と対策について樹木医の実演・解説等が行われます。

尚、現地検討会の実施に当たっては、(財)日本緑化センター、(財)かながわトラストみどり財団、(社)日本樹木医会神奈川県支部、鎌倉市文化財課、建長寺のご協力をいただいています。

【本件問合せ】

(社)golferの緑化促進協力会 担当：麻生・染谷
TEL : 03-3584-2838 FAX : 03-3584-2847